



## 今後の主な進路関係行事

### 【11月の予定】

- 1 (金) 進研模試②  
[~2(土)]  
進研駿台マーク模試③  
[~2(土)]  
大学別模試③  
[~2(土)]
- 3 (日) 文化の日
- 4 (月) 振替休日
- 7 (木) 芸術文化祭  
    グランドステージ
- 8 (金) 大学別模試③
- 9 (土) 土曜課外①②  
土曜講座①  
登校学習会②  
大学別模試③
- 13 (水) PTA あいさつ運動③
- 15 (金) 月曜授業
- 16 (土) 土曜課外①②  
土曜講座①  
登校学習会②
- 18 (月) 後期植花作業  
大掃除
- 20 (水) 県民の日
- 21 (木) 定期試験時間割発表
- 22 (金) 職員会議
- 23 (土) 勤労感謝の日
- 28 (木) 第4回定期試験  
[~12/3(火)]
- 29 (金) 志望校検討会

※○数字は学年を示します

## <大学入試センター試験：3年生271名が出願>

9月30日(月)~10月10日(木)の11日間、大学入試センターでは、令和2年度大学入試センター試験の願書受付が行われました。本校では、受験希望者271名から提出された出願書類を各クラス担任及び進路指導部で確認した後、10月1日(火)(大安吉日)に出願いたしました。

10月10日(木)には、2階エレベーターホール前にある「センター試験まであと〇日」のカウンタダウソナルンダーが残り日数を100日と刻みました。3年生の中には、現在A〇入試に挑戦している生徒や、これから国・公・私立大学の推薦入試に臨む者もいますが、どのような手段で受験に臨むにしても、試験においては皆さんの「実力」が問われます。入学後の「大学生活」を様々な視点から捉える言葉はありますが、やはり大学は「学問研究を行う場」であることに変わりはありません。3年生にはその場に見合う「実力」をきちんと身に付けた上で南高を卒業して欲しいと願います。その「実力」を試す指標の一つが、今回皆さんが出願した「大学入試センター試験」ということになるでしょう。全国700近い会場で、58万人ほどの受験生が、同じ試験を、同じスケジュールで実施するこの大学入試センター試験は、これまで皆さんが経験してきたどの試験よりも大規模で重要な試験となります。大学進学を考えている人にとっては、ある意味現代の「通過儀礼」のようなものかもしれませんね。3年生は、今はただ「倦まず、弛まず、たじろがず」を念頭に置き、最後まで諦めることなく、一日一日を大切に、学習に励み、「実力」を身に付けて欲しいと思います。

## <進路講演会「センター試験まで99日を迎えて」を実施>



10月11日(金)6校時の70分ティヤ探究の時間を利用して、3年生対象の進路講演会を実施しました。大学入試センター試験の出願を終え、センター試験まで100日を切るタイミングで毎年行われる講演会ですが、今年は駿台予備学校・立川校の校長をされている小池田真人さんを講師としてお招きし、講演していただきました。小池田さんは「君たちは最後のセンター試験世代と言われ、巷では浪人ができないから志望校を

下げるなど安全志向が顕著だと言われているが、本当にそのような志望でよいのだろうか」と疑問を呈しました。「確かにここ数年は大学入学共通テストへの移行・私立大学の定員管理の厳格化などへの不安から安全志向が強まっているが、結果として難関大は志望者が減少してチャンスが拡大し、反対にMARCHから日東駒専、大東亜帝国といった私立は難化の傾向にある。ただ、実際3万人近い再受験生(入り直し)が毎年おり、安全志向といっても、実際はただ「困難」から「楽な方向」に逃げるような姿勢で受験している人もおり、「大きな周り道」をして無駄な受験に終わることもある」と話されました。さらに「大学入学共通テストに変わるといっても、出題範囲に変更があるわけでもなく、学校のテストでも記述式のテストは何度も受けているのだから、そんなに恐れる必要があるのか?最後まで現役生は伸びるのだから、安易に妥協せず、自分を信じて、努力を継続することの方が大切では?」と受験に向かう3年生の背中を押してくれました。

## <2年生対象 模擬裁判を実施しました>



10月11日(金)の6, 7校時のフロンティア探究とLHRの時間を利用して、2年生を対象に「模擬裁判」を実施しました。この取り組みが始まったきっかけは、2004年に裁判員法が成立したことです。この法律により、一般の市民が裁判員として裁判に関わることになり得るため、高校生の内に裁判員についてその仕組みを学んでおくことを目的として、毎年継続して行われています。以前は、1名の弁護士が来校し、学年全体で行っていましたが、数年前から県の弁護士会の協力で、7名の弁護士に来ていただき、各教室でクラス毎に実施されるようになりました。

「模擬裁判」では、左の写真のように、代表の生徒たちが裁判官、弁護士、検察官、被告、証人、とそれぞれの役割を担い、DVDの窃盗事件の裁判の一場面をシナリオに沿って演じます。その後、生徒たちはグループ毎に話し合い、有罪か無罪かを決めます。その際、証言のどの部分かその根拠になるかも考える必要があるため、生徒たちは楽しみながらも真剣に話し合います。有罪側と無罪側の意見を皆で共有した後、講師の弁護士から講評と裁判の説明が行われて終了となります。この流れの中で、生徒たちは裁判がどのように行われるのかといったプロセスはもちろん、証言をもとに判断を下すことの難しさや、人を裁くことの重大さも学ぶこととなります。普段はテレビドラマや映画などで裁判のシーンは目にしたこともあるでしょうが、この「模擬裁判」を経験したことで、生徒たちは「裁判」というものに対する考えが深まり、またドラマや映画からは知り得ない裁判の難しさを実感したことだと思います。

この経験をきっかけに、「法律について更に学んでみたい」とか「将来、法曹界をぜひ目指したい」とかいう生徒もいるかもしれません。また、そうでないとしても、将来、大人になったときに裁判員に選ばれて、実際の裁判に臨むことになる人がいるかもしれません。いずれにせよ、今回の「模擬裁判」で学んだことは、生徒たちの人生のどこかできっと役に立つことでしょう。

### ◇◆◇ 1年生文理選択・2年生科目登録 ◇◆◇

現在、1・2年生は来年度の履修科目登録を行っています。特に1年生の多くは進学のための受験科目などを考慮して、いわゆる文系・理系の選択をしなければなりません。懇談を通じて、クラス担任の先生と密に情報交換をしながら後悔のない選択をして欲しいと思います。本来は、学びたいという観点で履修科目を選択できるのが理想的な選択の在り方ですが、上級学校への進学を考えると、どうしても受験科目との関連で科目を選択しなければならないというのが現状です。科目選択を考えるには、自分の志望校や少なくとも志望学部や学科については明確にしておくことが前提になります。将来の進路選択に向けて、とても重要な選択ですので、ご家庭でもしっかりと話し合ってくださいと思います。

## <進路を考えるヒント>

**"You can practice shooting eight hours a day, but if your technique is wrong, then all you become is very good at shooting the wrong way. Get the fundamentals down and the level of everything you do will rise."**  
- Michael Jordan

今回の進路を考えるヒントは、アメリカのプロバスケットボールリーグNBAにおいて活躍し、爆発的な人気を誇ったナイキのシューズ"Air Jordan"の生みの親でもある「バスケットボールの神様」・マイケル・ジョーダンの名言です。「1日に8時間のシュート練習をすることはできるが、やり方が間違っていたら、間違ったシュートが上手くなるだけだ。基礎基本を習得すれば、やることすべてのレベルが向上する」といった意味でしょう。さすが、「神様」と呼ばれるに相応しい素晴らしい言葉ですね。私も授業で「ダメなことも習慣になるんだよ。怠けたり、ズルしたりしていると、怠けることやズルすることが習慣になるからね」とよく言いますが、何事においても、あることに上達しようと思ったら、地道な練習は欠かせません。しかし、やり方が間違っていたら、いくら時間をかけても上手くはいかないでしょう。そして、ジョーダンの言葉の続きにあるように、"fundamentals (基礎基本)"をきっちり習得することが、レベルを上げるには絶対に必要なことですね。では、あなたが上達を目指していることの「基礎基本」は一体何でしょうか？勉強であれ、部活動であれ、もし今なにかに躓いていることがあるとすれば、まずは「基礎基本」をもう一度きちんと確認してみましょう。そして、正しいやり方で時間をかけて、それにじっくり取り組んでみましょう。そうすればあなたもきっと上達できます。これは決して冗談なんかじゃありません！

